

小石川關口關井町日本水彩畫會として通信せらるゝ方あり、間違を生じ候に付、

以後は一切春鳥會宛に願ひたし。

□御註文の時、雜誌の號數を記入せず、

又は何月よりと御明記なきため發送上迷惑甚し、御注意を乞ふ。

□丸山晚霞氏は、三月十五日横濱出帆の

平野丸にて渡歐の途に就かるゝ筈なり。

□大下氏は、三月初旬、大阪を経て高松

多度津、松山、道後、宮島、並びに九州

別府方面に寫生旅行のため出發致さるべし。

□従つて、會友諸君より送らるゝ水彩畫

批評の返送は、四月中と御承知ありたし。

□三月中は直接の質問、肉筆畫の貸與、其

他主幹の手を要すべき事項は一切御斷り

いたし置く。

□小豆島『十人寫生紀行』は日本橋區馬喰

町二丁目興文社より發賣されたり。一部

金貳圓特價壹圓六拾錢にして會友は一部

壹圓四拾四錢に割引さるべし御入用の方

は會友の肩書を明記して直接同社へ注文

ありたし送料は多分八錢ならん

## 問に答ふ

■一 寫生の時は是非鉛筆輪廓をとるべきものによ、正確ならんには直ちに彩筆を下してはいかに二 最初に下地の淡色を萬遍なく塗つて、漸次に仕上げてゆくのと、初めから自然の色を其儘つけてゆくのと何れが合理的なりや三 感じさへ出れば、冬でもエメラルドグリーンを使用し、或はレモンエローを使用しても差支なきや、それ共絶対に春の若草などに限りますか四 繪は實景よりも多少あるものゝ取捨を許すものによ、若し可能とすれば、七十二號の『興津海岸』中の最前方の何物かの影の如きは捨てゝもよろしきや(湯淺生)◎一 一寸繪葉書位書くなら知らず、また俄かに出た雲の現象でもスケッチする時なら格別、苟も三脚を据へて繪を畫く場合に、どんな大家でも輪廓は取る。ある印象を手早く寫さうと思ふ時程、輪廓はより正しく取る。輪廓をとるといふことは、何もその輪廓の中へ、繪具を嵌めてゆくために仕切りを

□本號原色版『木曾駒ヶ嶽』は昨年四月信州赤穂大田切高原より寫生せしもの、原畫は一尺に一尺五寸大。『銚子海岸』は「ワットマン」四ツ切大。『早春』はOW四ツ分大なり。

□次號原色版は中澤弘光氏の『吉奈温泉』。大下氏の『春』を出す筈。他に大坂某氏よりの寄送にかゝる朝鮮の風景並に石井柏亭氏のエハガキ小豆島等の石版畫を掲出すべし。

□編者の都合により、四月號は定期より數日間程發行延引するかも知れず、豫め御斷申おく。

□日本水彩畫會研究所では、四月八日九日の兩日、生徒の成績展覽會を開く計畫中なり。四月號はなるべく其前に發行して、御案内申すべく、會友及讀者諸君の御來觀を望む。

□『みづゑ』に關する用向、會友諸君よりの通信等は、春鳥會に於て取扱ひ居れり。然るに、日本水彩畫會宛とし、又は